




教科	保健体育	いちのみや探究デー	
日時	令和2年11月14日(土) 授業: 13:20~14:05 研究協議: 14:20~15:30		
指導者	岡山一宮高校 保健体育科 教諭 神宝 統久		
会場	岡山一宮高校 グラウンド (雨天時: 体育館)		
対象	岡山一宮高校 普通科 1年3・4組 女子29名		
単元	球技 ベースボール型 ソフトボール 全9時間中 第7時間目 選択学習: プレーヤー・コーチング		
目標	自身が「できるようになる(上達)」ことや「他者へのアドバイスやサポート」に喜びや楽しさを感じさせることを主目標とする。ソフトボールの特性を感じさせることは第一目標としない。		
探求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アドバイスはするが、直接指導は避け、気づきを大切に行う。</li> <li>・気づきに喜びや、楽しさを感じさせるようにする。</li> <li>・コツをつかめば上達できるという、経験をさせる。</li> </ul>		
テーマ	探究だと感じた瞬間		
<p>☆事前準備をし、道具を並べることで、何が行われるのかと、授業前から探究が行われている。</p> <p>☆ラジオ体操で、手は10時10分と表現し、イメージさせ、動きを考えさせている。</p> <p>☆これから活動する主運動を意識した準備運動が行われている。</p> <p>☆補強運動を回数にこだわらず、やりたいだけ実施している。</p> <p>☆バッティング・スローイング・フィールディングと、自分の課題を気づかせ選択させている。</p> <p>☆アドバイスは会話と伝え、どう仲間とどう接すればよいか、考えさせている。</p> <p>☆「上手でないのに教えていいのですか」しっかり見てあげて、気付いたことをアドバイスするよう伝え、経験者ではないが、コーチングすることで、新たな気づきにつながり、自らの技能向上にもいかされている。</p> <p>☆コーチング役6人は、何をアドバイスするか、探究している。</p> <p>☆教師が示した技術のポイントを確認し、ヒントにして、教え合う活動が行われている。</p> <p>☆自分のバッティングレベルを考えさせ、ティーカトスカを選択できるようになっている。</p> <p>☆バッティングで、しならせる・横に・前へという動きを、バットでなく、その動きをつかみやすい、ほうきくらいの長さの棒を使用している。</p> <p>☆バッティング練習の球出しの生徒が、打球を見て、打ちやすい球を考えながら出している。</p> <p>☆スローイングの距離をのばし、段階的にうまくいなくなる部分をさがし、その原因を探究している。</p> <p>☆スローイングを動きだけでなく、上手にできているか、音でも求めている。</p> <p>☆これまでの探究的な学びにより、確実に上達している。</p> <p>☆探究カードに、技術の身に付けてほしい段階が書いてあり、探究しやすくなっている。</p> <p>☆授業最後に、探究カードに記入することで、振り返りができ、次時につなげている。</p> <p>◎荻野指導主事より：探究的な学びを行うためには、自ら問いを持つことが大切。そのためには、まず主体的な学びに向かう態度が必要。生徒同士の会話が長く主体的な授業が行われていました。</p>			